

美しい少女・蛍が線路に身を投じる。
夢く散った彼女の死は後悔と悲劇を生み出していく――

みんな 蛍 を 殺したかった

木爾チレン

KINA CHIREN

――みんな誰かを殺したいほど羨ましい。



京都の底辺高校と呼ばれる女子校に通うオタク女子三人、校内でもスクールカースト底辺の扱いを受けてきた。そんなある日、東京から息を呑むほど美しい少女・蛍が転校してきた。生物部とは名ばかりのオタク部に三人は集まり、それぞれの趣味に没頭していると、蛍が入部希望と現れ「私もね、オタクなの」と告白する。次第に友人として絆を深める四人だったが、ある日、蛍が線路に飛び込んで死んでしまう。真相がわからぬまま、やがて年月が経ち、蛍がのこした悲劇の歪みに絡みとられていく――

「女による女のための R-18 文学賞」優秀賞受賞者である著者が、原点に立ち返り、少女たちのところの中に巣くう澱みを鮮烈な感性で抉り出す初のミステリ作品